

図画工作・美術・芸術（美術、工芸）における学校間の接続に関する調査研究

研究テーマ

図画工作・美術・芸術（美術、工芸）科における学校間の円滑な接続に関する調査研究
～学びの一貫性や連続性を踏まえた指導内容・指導方法の工夫改善～

図画工作・美術・芸術（美術、工芸）科における、育むべき感覚、能力、関心、態度等は各学校段階で一貫して同じ内容である。また、学習内容の設定にあたっては、子どもの発達段階、各学校段階の内容の連続性、育成する資質や能力を踏まえることが重要である。本研究では、これらの内容に基づいた指導内容・指導方法の工夫改善を行うことが、学校間の指導の違い（指導の段差）や、児童生徒の意識の違い（意識の段差）に、一貫性や連続性をもたらすとともに、学校間の接続を円滑にするのに有効であると考え、研究テーマを設定した。

※以下「図画工作科・美術科・芸術科（美術、工芸）」を「図画工作・美術」と表記する。

1 調査研究の視点

（1）教師や児童生徒の段差の実態把握

学校間で教師の指導内容・指導方法にどのような段差があるか、児童生徒が図画工作・美術にどのような意識をもっているかを、教育課程の分析や児童生徒の意識アンケートで把握する。

（2）指導内容・指導方法の改善の方向性の検討

把握した実態を基に、子どもの発達段階、各学校段階の内容の連続性、育成する資質や能力等を明確にした指導計画や指導案の方向性を明確にする。

（3）具体的な改善案の作成とその検証

具体的な指導内容・指導方法の改善案の方向性を盛り込んだ指導計画と指導案を作成し、研究授業を行うとともに、検証のための調査を実施する。

2 研究の取組

（1）各学校種の教育課程や指導案の分析

各学校種の特徴を表として整理した。

（2）児童生徒の意識アンケートによる実態把握

以下の内容を調査した。

- | | |
|------------|------------|
| ア 教科への意識 | イ 教師とのかかわり |
| ウ 学習内容（題材） | エ 育成する力 |
| オ 教科への疑問等 | カ 発想と技能 |

（3）考察

把握できた実態を基に、指導内容・指導方法の改善の方向性を検討した。

3 成果と課題

（1）成果

- ① 各学校種の教育課程や指導の特徴を整理し、全体と各学校種の共通点や相違点を明らかにすることができた。
- ② 児童生徒の意識アンケートから、教科への意識、教師とのかかわり、育成する力等に対する意識を分析し、具体的な段差の内容を把握することができた。
- ③ 次年度の方向性を見いだすことができた。

（2）課題

以下の内容を踏まえた具体的な指導計画や指導案を作成・実施・検証すること

- ① 図画工作・美術の育成する資質や能力を誰もがわかるように周知すること
- ② 図画工作・美術の指導の作品主義から活動主義への転換を図ること
- ③ 児童生徒の発達の段階に応じた豊かな芸術との出会いをつくること

【図画工作・美術・芸術（美術、工芸）】

1 はじめに

平成 20 年 1 月の中央教育審議会の答申で、小学校、中学校及び高等学校を通じる図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の改善の基本方針が 5 つの項目で示された。本研究では、そのうち、次の 2 つに注目した。

- 図画工作科，美術科，芸術科（美術，工芸）については，その課題を踏まえ，創造することの楽しさを感じるとともに，思考・判断し，表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てること，生活の中の造形や美術の働き，美術文化に関心をもって，生涯にわたり主体的にかかわってく態度を育むことなどを重視する。
- このため，子どもの発達段階に応じて，各学校段階の内容の連続性に配慮し，育成する資質や能力と学習内容との関係を明確にするとともに，小学校図画工作科，中学校美術科において領域や項目などを通して共通に働く資質や能力を整理し，〔共通事項〕と示す。

以上の項目は、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の、育むべき感覚、能力、関心、態度等が各学校段階で一貫して同じ内容であること、学習内容の設定にあたっては、子どもの発達段階、各学校段階の内容の連続性、育成する資質や能力を踏まえることが重要であることを示しているを読み取ることができる。

本研究では、これらの内容に基づいた指導内容・指導方法の工夫改善を行うことが、学校間の指導の違い（指導の段差）や、児童生徒の意識の違い（意識の段差）に、一貫性や連続性をもたらすとともに、学校間の接続を円滑にするのに有効であると考えた。

この考えを研究の基本とし、本年度は、「教育課程の分析や質問紙調査による、教師の指導の段差や児童生徒の意識の段差の実態把握と、それに応じた指導内容・指導方法の改善の方向性の検討」を、次年度は、「具体的な指導内容・指導方法の改善案の作成とその検証」を行っていく。

なお、この後「図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）」を「図画工作・美術」と表記する。

2 調査研究の視点

（1）図画工作・美術の現状

図画工作・美術には、関係する教師の専門性の違いから、指導内容・指導方法に段差があることが以前から問題とされてきた。また、図画工作・美術に対する児童生徒の意識や考えに各学校段階で段差があることも以前から認められてきた。このような背景から、小中高の学びに一貫性や連続性を持たせるための研究が、本センターでも積極的に行われている。平成 15～18 年度の「小中高の系統的指導法開発実践講座」では、特定の領域ごとに小中高の 12 年間を通じた系統的な指導に基づく学習指導案の作成と授業展開を行った。ここで図画工作・美術では、鑑賞指導の系統性についての研究を行った。平成 19・20 年度の「教科等で考える異校種間の連携の工夫」では、各学校段階の授業参観を通して連携の在り方を探り、小中高の連携についての事例提案を行った。ここで図画工作・美術は、共通課題として「自画像」に取り組んだり、小中高合同展覧会を開催し研究に取り組んだりした。本研究は、以上のような研究を参考にしながら、より学校間の接続に焦点をあてた研究を行うことを目指している。

(2) 図画工作・美術の課題

① 教師の指導の段差や児童生徒の意識の段差の実態把握（1年次）

主に、学校間で教師の指導にどのような段差があるか、児童生徒が、図画工作・美術にどのような意識を持っているかを教育課程の分析や質問紙調査で調査する。

② 実態に応じた指導内容・指導方法の改善の方向性の検討（1年次）

実態をもとに、子どもの発達段階、各学校段階の内容の連続性、育成する資質や能力等を明確にした具体的な指導計画や指導案の作成を目指して行う。

③ 具体的な指導内容・指導方法の改善案の作成とその検証（2年次）

具体的な指導内容・指導方法の改善案が盛り込まれた指導計画と指導案を作成し、研究授業を行うとともに、検証のための調査を実施する。

3 研究テーマ

中央教育審議会の答申が示す改善の基本方針と、本調査研究の視点を踏まえて以下のように設定した。

図画工作・美術・芸術（美術、工芸）科における学校間の円滑な接続に関する調査研究
～学びの一貫性や連続性を踏まえた指導内容・指導方法の工夫改善～

4 研究の取組

(1) 各学校種の教育課程や指導案の分析による現状把握

各学校種の教育課程や指導案の分析の結果を表（次頁参照）に整理した。

そのうち、顕著だったものは次のとおりである。

- 所属以外の学校種の理解をしていない教師が多いことが予想されるため、まずは、異校種の理解が必要である。
- 教師の問題として、小学校では学級担任が指導しており、苦手意識をもった教師が多いことが分かった。それに対して、中高等学校では美術を専門とする教師が指導しているが、美術を苦手とする生徒の気持ちが変わりにくい現状があることがわかった。
- 履修の問題として、小中学校の全員必修に対して、高等学校では選択必修であり、多くの生徒が中学校で美術の学習が終わってしまう現状を確認できた。高等学校では、選択する生徒の確保が課題であるが、これには小中学校における指導の役割も大きいと考えることができる。
- 題材の問題として、小学校では学級担任が学年で統一した内容を共通に指導するため、教科書の題材をそのまま使うことが多く、中高等学校では美術の基礎的な技術の育成を踏まえた題材が多いことがわかった。どちらも、よりよい作品づくりを目的とする傾向が強く、学習指導要領が示す、子どもの発達段階、各学校段階の内容の連続性、育成する資質や能力等を明確にした題材は、まだ十分に意識しているとは言い難い。
- 児童生徒の意識の問題として、どの学校段階においても児童生徒は図画工作・美術が好きであるが、学年が進むにつれて苦手意識を持つ児童生徒が増える傾向があること、図画工作・美術を単に楽しむことから、作業に集中する感覚を味わったり、自分やまわりのことについて考えたりすることを楽しむ生徒が増加する傾向にあることがわかった。図画工作・美術の在り方が、子どもの発達の段階に応じて変容していく興味深い結果を得ることができた。

研究協力員との情報交換による各学校の特徴のめとめ

	小学校	中学校	高等学校	考 察
教 科 名	図画工作科	美術科	芸術科（美術、工芸） ※美術、工芸は科目である。	教科名の違いには感覚的な段差を感じる現状がある。
指 導 者	全科免許をもつ教師 ほとんどが学級担任	美術免許をもつ教師	美術は美術免許をもつ教師 工芸は工芸免許をもつ教師	小学校と中・高等学校の教師の間に明らかな意識の違いがある。小学校には苦手意識を持つ教師が多い。
時 間 数	1年 68時間 2年 70時間 3・4年 60時間 5・6年 50時間 ※週1～2回の45分の授業である。	1年 40時間 2年 35時間 3年 35時間 ※50分の授業である。 ※1年は週1～2回、2、3年は週1回の授業である。	美術Ⅰ 2単位 美術Ⅱ 2単位 美術Ⅲ 2単位 ※Ⅰ～Ⅲは学年ではない。 Ⅰを履修した生徒がⅡを、Ⅱを履修した生徒がⅢを履修できる。 ※学校設定科目設定している学校もある。	どの学校段階でも学習指導要領に示されている行うべき内容に対しての時間が少なく、困難な状況である。短時間題材の設定や、作品のサイズを小さくする等の工夫が多く、学校で行われている。
履 修	全員必修	全員必修	選択必修 高等学校が設定した科目を選択する。美術は多くの学校で設定しているが、工芸は少ない現状がある。	高等学校では選択する生徒の人数により、科目の開設に大きな影響を及ぼす。関連して、小中学校で美術が好きになるような取組が重要である。
指 導 内 容	教科書に示された題材・題材名で授業を行うことが多い。学習指導要領には、取り扱う材料や用具が具体的に示されている。	教科書に示された題材を参考に、教師の経験に基づいて設定した題材を行うことが多い。	教科書に示された題材を参考に、教師の経験に基づいて設定した題材を行うことが多い。	小学校に比べて、中高等学校は、担当する教師により指導内容の違いが出るとともに、指導する内容が専門的になる傾向にある。
学校内での展示	学級に所属する児童の全作品を展示することが多い。題材名、作品名、作者の言葉、教師のコメントなどと一緒に展示の場合も多い。	美術室周辺や、校内の展示コーナー等を使って、賞を受けた作品や特定の作品を展示することが多い。コメントを付ける場合もある。	中学校と同様に、美術室周辺や、校内の展示コーナー等に展示している。展示は成果を認めるだけでなく、学校を飾る役割も大きい。	小学校の教室や廊下は、作品で埋め尽くされている場合があるのに対して、中高では担当が関係分掌と調整しながら展示をしている。
参加する展覧会	学校参加の展覧会では、授業の作品を出品している。	学校参加の展覧会では、授業の作品を出品している。美術部の作品が出品されることがある。	全県の高校美術展は全国大会の予選も兼ねており、作品として優れたものを評価している。	小中学校は、学校参加の展覧会が合同のため、作品の交流を行いやすい。高等学校は独自で行っているため、小中との交流は少ない。
児童・生徒の意識	図画工作が好きな児童はどの学年でもとても多い。図画工作の時間に、何を表すかを考えたり、表し方を工夫したりすることを楽しむ傾向がある。高学年になるにつれて、苦手意識を持つ児童が増える傾向にある。	美術が好きと思う生徒は多いが、苦手とする生徒も多い。美術の時間は作品を完成させることに力を入れる傾向がある。生徒は考える活動よりも、作業的な活動を好む傾向がある。	自ら選択していることもあり美術が好きと思う生徒は多い。特定の技術や分野に苦手意識を持っている生徒が多い。他の時間に比べてゆとりをもって学べる時間と考えている生徒が多い。	小中高全体で図画工作・美術が好きと思う児童生徒は多いが、発達にあわせて好きの内容が変化していることがうかがえる。これにあわせて指導内容や指導方法を工夫する必要がある。

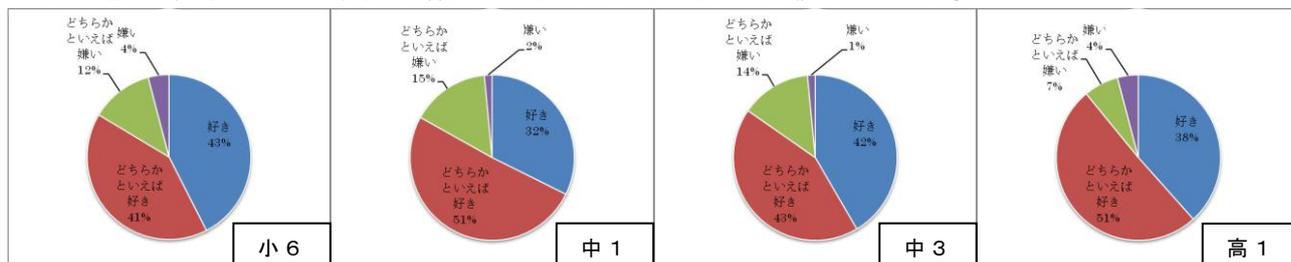
(2) 教科質問紙調査による実態把握

児童生徒に図画工作・美術についての意識調査等を行った。

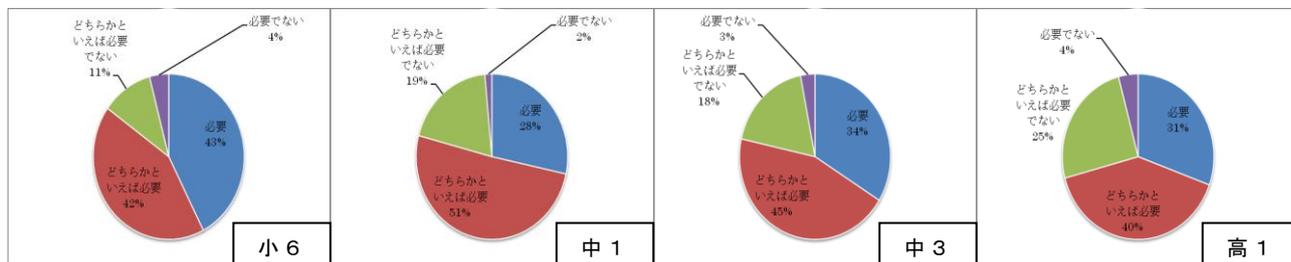
- ① 調査時期 平成24年度 9月～10月
- ② 調査対象 小学6年生73名、中学1年生65名、中学3年生65名、高等学校1年生73名
- ③ 調査項目 ア 教科への意識 イ 教師とのかかわり ウ 学習内容(題材)
エ 育成する力 オ 教科への疑問など カ 発想と技能(実技)
- ④ 調査結果(特徴のあるものを抜粋して報告する)

ア 教科への意識の調査結果

- 図画工作・美術が「好き」と回答した児童生徒は、中1のみで最も少ない(小中での段差がある)ことが認められる。「好き」「ちらかといえば好き」を合わせた肯定的な回答は、すべての学校段階で80%を超えて高く推移している。



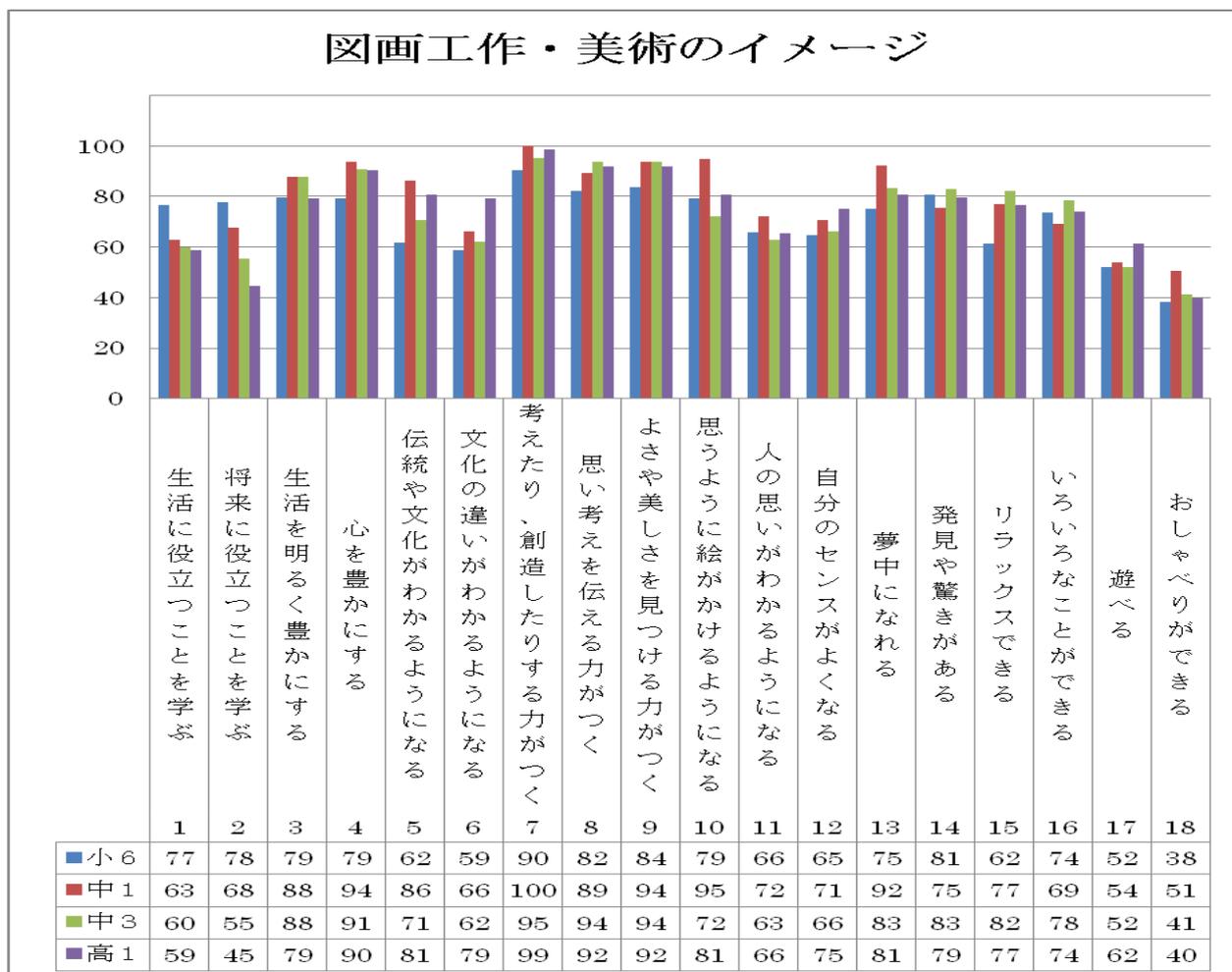
- 図画工作・美術を「必要」と回答した児童生徒は、中1でやや大きく減少(小中での段差がある)し、中3でやや増加するが、高1でやや減少する。「必要」「どちらかといえば必要」を合わせた肯定的な回答は、すべての学校段階を通じて緩やかに減少している。



- 児童生徒が、図画工作・美術に抱いているイメージについての肯定的な回答の割合の結果(次頁参照)から、次のような結果を得ることができた。

- ・ 図画工作・美術に抱いているイメージ(肯定的な回答の割合が比較的に高いもの)
「心を豊かにする」「考えたり、想像したりする力がつく」
「思いや考えを伝える力がつく」「よさや美しさを見つける力がつく」
→育成する力と関連するものが多く、児童生徒が授業に正対していることがわかる。
- ・ 小中間の段差があるイメージ(肯定的な回答の割合が小中間で比較的大きいもの)
「生活に役立つ」「将来に役立つ」
→受験に関係するかどうかの判断基準が加わっていくと推測できる。
- ・ 中高間の段差があるイメージ(肯定的な回答の割合が中高間で比較的大きいもの)
「伝統や文化の理解」「文化の違いの理解」
→生徒の認識の広がりや、学習内容の増加と関係していると考えられる。

図画工作・美術のイメージ



イ 教師とのかかわりの調査結果

調査結果からは、学校段階が進むにつれて全体的に減少する傾向が見られた。

児童生徒が記述した言葉からは、次のような傾向が見られた。

○ うれしかった言葉の傾向

学校段階が進むにつれて、「いいよ～」「すごいね」「かっこいい」等の漠然としたほめ言葉に、「性格が出ているね」「自分らしくできているね」などの個性を認める言葉や、「形になってきたね」「色のセンスがいい」「カッターを上手に使っているね」等の具体的な取組や内容を評価する言葉が加わっていることがわかった。

ウ 学習内容（題材）の調査結果

調査用紙を、記述式にしたため、どのような学習内容を示しているのか分からないものが多く、正確な分析を行うことはできなかった。大まかな傾向は次の通りである。

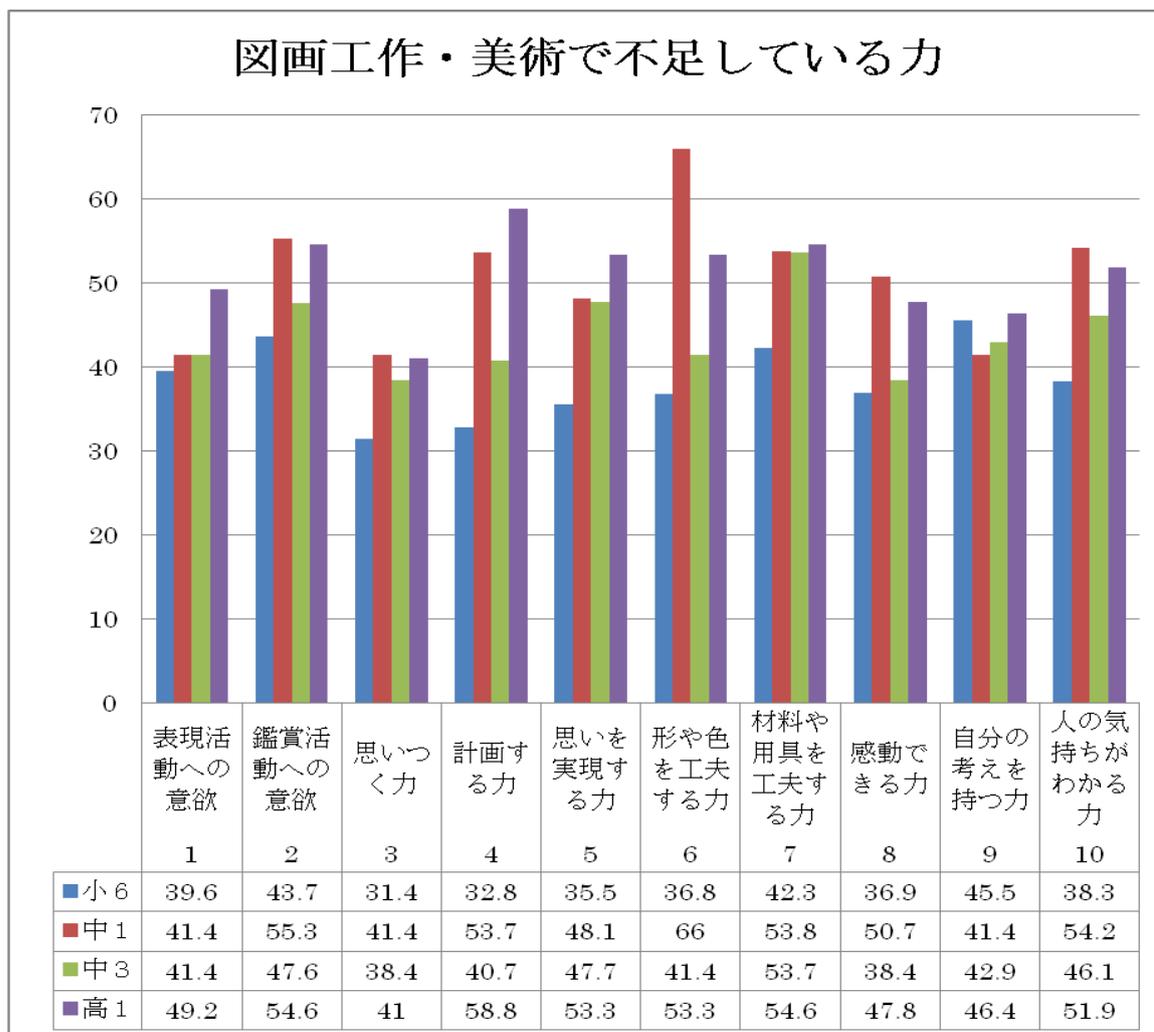
○ 記述されたほとんどの題材が「面白かった題材、またやってみたい題材」「面白くなかった題材、やりたくない題材」の両方に記載されていた。

○ 記述の傾向から、経験したことがある題材よりも、やったことのない題材に関心があるようすがうかがえた。

エ 育成する力の調査結果

調査用紙では、図画工作・美術で育成する力を「身に付いた力」「不足している力」「身に付けたい力」で調査した。ここでは、肯定的な回答の割合の段差が顕著な「不足している力」の分析を示した。「不足している力」は、児童生徒が課題としてる力であり、それに応じた指導内容・指導方法の工夫改善が必要と考える。

図画工作・美術で不足している力



- 小中間の比較的大きい段差が、10の項目のうちの8つで認められた。該当する8つの項目では、小学校6年生から中学校1年生の接続の段階で肯定的な回答の割合の段差が大きく増加している。中でも「色や形を工夫する力」において段差が最も大きくなっている。これは、小中間での生活や学習の違いや、指導内容・指導方法の違い、児童生徒の発達の段階が関係していることが考えられる。段差が少ない「表現活動への意欲」、段差が逆転している「自分の考えを持つ力」のさらなる分析も必要である。
- 中高間の比較的大きい段差が、10の項目のうちの8つで認められた。該当する8つの項目では、中学校3年生から高等学校1年生の接続の段階で肯定的な回答の段差が大きく増加している。中でも「計画する力」において段差が最も大きくなっている。
- 学校間の段差ではないが、中1中3間でも、変化が認められる。
- 全体を、小中高間での段差が認められた視点で見ると、「鑑賞活動への意欲」「計画する力」「形や色を工夫する力」「感動できる力」「人の気持ちがわかる力」が課題であることがわかる。

オ 教科への疑問などの調査結果

調査用紙が自由記述だったため直接教科に関係の無い質問まで多様な質問が集まった。主な質問の傾向は次の通りである。

- 美術の哲学など 「なぜ美術があるのか」「いつ美術はできののか」
- 技術指導の要望 「発想の方法」「絵の具の使い方」「透視図法」
- 芸術作品への興味 「ピカソの絵の良さ」「教科書の絵の良さ」

カ 発想と技能（実技）の調査結果

特定の形からの発想力調査と、具体的なものを見て描く描写力調査を行ったが、時間の確保等が不十分だったため、効果的な結果が得られなかった。今後の課題とする。

（3）考察

教育課程の分析や調査結果をもとに研究テーマについて協議した。研究の方向性つながらる主な意見を示す。

ア 図画工作・美術で育成すべき資質や能力の認識が十分とは言えない。また、児童生徒がそれをどのくらい身に付けているかを明確に伝えることができるようにすることが必要である。

イ 発達の段階に応じて、どのように図画工作・美術を学んでいくのかを明らかにしていく必要がある。

ウ これからの力は、完結した力ではなく、継続する力、より学びたくなる力である。

エ 生活を豊かにするためには、図画工作で感覚や感性を豊かにすることが必要と考える児童は多い。小学校の状態を維持して、中学校、高等学校でそれをどのように育てるかが要となるのではないか。

オ 「ものづくりの時間」という認識の改善が必要ではないか。育成する力を学校間で共有するにあたり、図画工作・美術を「ものづくり」を目的とする時間という認識は、それ自体が指導の段差を生むものになりかねないと考える。

カ 教師とのかかわりでは「褒める」ことを各学校段階で行うことが重要。教師が感性を豊かにし、児童生徒が褒めてもらいたいタイミングを見極めることが必要である。

キ 学校現場では、伝統や文化、芸術作品に触れる機会が少ない。生涯を通じて図画工作・美術を愛好する人間を育成するためにも、年齢に応じて、芸術に出会う機会をつくることが重要ではないか。日常生活のアート、文化のアート、鑑賞のためのアートに関連性を持たせていくことが必要である。

ク 学校間の段差を無くして行くには、図画工作・美術で身に付けたい力を共有し、そのうえで学校間で作品を交流し合うことなどが有効であると考えられる。

以上をもとに、今後の研究の方向性を下のように見いだすことができた。

ア～エより

方向性 1 図画工作・美術の育成する資質や能力を誰もが分かるように周知すること

オ、カより

方向性 2 図画工作・美術の指導の作品主義から活動主義への転換を図ること

キ、クより

方向性 3 児童生徒の発達の段階に応じた、豊かな芸術との出会いをつくること

5 成果と課題

(1) 成果

- ① 各学校種の教育課程や指導の特徴を整理し、全体と各学校種の共通点や相違点を明らかにすることができた。
- ② 児童生徒の教科質問紙調査から、教科への意識、教師とのかかわり、育成する力等に対する意識を分析し、具体的な段差の内容を把握することができた。
- ③ 段差の内容の改善案を協議することを通して、次年度の方向性を見いだすことができた。

(2) 課題

研究の方向性を具体的に実現していくために、それぞれの方向性に対応して課題を設定した。

方向性1 図画工作・美術の育成する資質や能力を誰もがわかるように周知すること



課題

- ・ 図画工作・美術の育成する資質や能力の研究を一層進める。
- ・ 教師だけでなく、児童生徒、保護者、地域、社会に周知する。

方向性2 図画工作・美術の指導の作品主義から活動主義への転換を図ること



課題

- ・ 小中高の一貫した指導内容で今までの指導計画、指導案を見直す。
- ・ 活動主義が明確になった具体的な指導事例の作成・実施・検証をする。

方向性3 児童生徒の発達の段階に応じた豊かな芸術との出会いをつくること



課題

- ・ 児童生徒の発達の段階と指導内容・指導方法の関係を明確にする。
- ・ 異校種間作品交流プログラム、芸術との出会いプログラムを開発する。

6 おわりに

本年度の研究の成果を生かし、次年度は具体的な図画工作・美術の改善案の作成・実施・検証を計画的に進めていく。また、研究のまとめを充実させ、成果を活用してもらえるように取り組んで行く。

小学校6年生のみなさんへ図画工作の調査のおねがい

この調査は、みなさんが図画工作に関することについて、どのように感じているかを調べようとするものです。テストではありませんので、学校の成績にはまったく関係ありません。自分が思ったとおりに答えてください。答えは、この用紙に直接記入してください。

学校名	<input type="text"/>	学級	<input type="text"/>	番号	<input type="text"/>	名前	<input type="text"/>
-----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------

1 図画工作という教科について

① 図画工作の学習は好きですか。次のあてはまるものに○をつけてください。また、その理由も書いてください。

(答え) 好き どちらかといえば好き どちらかといえばきらい きらい

(理由)

② 図画工作を学校で学習することは必要だと思いますか。次のあてはまるものに○をつけてください。また、その理由も書いてください。

(答え) 必要 どちらかといえば必要 どちらかといえば必要でない 必要でない

(理由)

③ 図画工作に対してどんなイメージを持っていますか。次のあてはまるものに○をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
・生活に役立つことを学ぶことができる	1	2	3	4
・将来の生活や社会に出て役立つことを学ぶことができる	1	2	3	4
・生活を明るく豊かにするのに役立つ	1	2	3	4
・心を豊かにするのに役立つ	1	2	3	4
・伝統や文化がわかるようになる	1	2	3	4
・諸外国の文化のちがいがわかるようになる	1	2	3	4
・考えたり、想像する力がつく	1	2	3	4
・思いや考えを伝える力がつく	1	2	3	4
・よさや美しさを見つける力がつく	1	2	3	4
・思うように絵がかけるようになる	1	2	3	4
・人の思いがわかるようになる	1	2	3	4
・自分のセンスが良くなる	1	2	3	4
・夢中になれる	1	2	3	4
・発見やおどろきがある	1	2	3	4
・リラックスできる	1	2	3	4
・いろいろなことができる	1	2	3	4
・遊べる	1	2	3	4
・おしゃべりができる	1	2	3	4

・その他

2 図画工作の時間と先生とのかかわりについて

①図画工作の時間に、先生に言われてうれしかった言葉はありますか。それはどんな言葉ですか。

(答え) ある ない

(言葉)

②図画工作の時間に、先生に言われてイヤだった言葉はありますか。それはどんな言葉ですか。

(答え) ある ない

(言葉)

③図画工作の時間に、ほめられたことはありますか。ある場合、どんな内容でほめられましたか。

(答え) ある ない

(内容)

④図画工作の時間に、しかられたことはありますか。ある場合、どんな内容でしかられましたか。

(答え) ある ない

(内容)

⑤図画工作の時間で先生にお願いしたいことがあれば書いてください。

(答え) ある ない

(内容)

3 図画工作の題材について

①小1～小6の図画工作で、面白かった題材、またやってみたい題材を、思いっただけ書いてください。

題材は正確でなくてもけっこうです。例「〇〇を使って△△などをつくったこと」。②③も同じです。

②小1～小6の図画工作で、面白くなかった題材、もうやりたくない題材を、思いっただけ書いてください。

③教科書を見て、これからやってみたいと思う題材はありますか。やってみたいと思うものをすべてを書いてください。

4 図画工作で身につけたい力などについて

①いままでの授業で、あなたにはどんな気持ちや力が身に付きましたか。次のあてはまるものに○をつけてください。

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない
・進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち	1	2	3	4
・進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち	1	2	3	4
・いろいろなことを思いつく力	1	2	3	4
・思いついたことをもとに計画する力	1	2	3	4
・思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力	1	2	3	4
・形や色などを工夫する力	1	2	3	4
・材料や用具を上手に生かす力	1	2	3	4
・よいものや美しいものに感動できる力	1	2	3	4
・自分なりの考えをもつ力	1	2	3	4
・つくった人の気持ちをわかろうとする力	1	2	3	4

②いままでの授業で、あなたに不足している気持ちや力は何ですか。次のあてはまるものに○をつけてください。

	不足している	やや不足している	あまり不足していない	全く不足していない
・進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち	1	2	3	4
・進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち	1	2	3	4
・いろいろなことを思いつく力	1	2	3	4
・思いついたことをもとに計画する力	1	2	3	4
・思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力	1	2	3	4
・形や色などを工夫する力	1	2	3	4
・材料や用具を上手に生かす力	1	2	3	4
・よいものや美しいものに感動できる力	1	2	3	4
・自分なりの考えをもつ力	1	2	3	4
・つくった人の気持ちをわかろうとする力	1	2	3	4

③中学生になったら、あなたがより身に付けたい気持ちや力は何ですか。次のあてはまるものに○をつけてください。

	身に付けたい	できれば身に付けたい	あまり必要でない	必要ない
・進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち	1	2	3	4
・進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち	1	2	3	4
・いろいろなことを思いつく力	1	2	3	4
・思いついたことをもとに計画する力	1	2	3	4
・思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力	1	2	3	4
・形や色などを工夫する力	1	2	3	4
・材料や用具を上手に生かす力	1	2	3	4
・よいものや美しいものに感動できる力	1	2	3	4
・自分なりの考えをもつ力	1	2	3	4
・つくった人の気持ちをわかろうとする力	1	2	3	4

5 その他

① 図画工作についての疑問や質問があれば書いてください

② 図画工作の授業で困ったこと・困ることがあれば書いてください

③ いい作品とは、どんな作品のことだと思えますか。あなたの考えを書いてください。

6 図画工作の発想と技能について

① 次の形を生かして、何かの絵にしてください。



② あなたの持っている消しゴムを、下の口の中にえがいてください。よく観察して、目に見えたとおりにえがいてください。

小6図画工作調査

1 図画工作という教科について

①図画工作の学習は好きですか

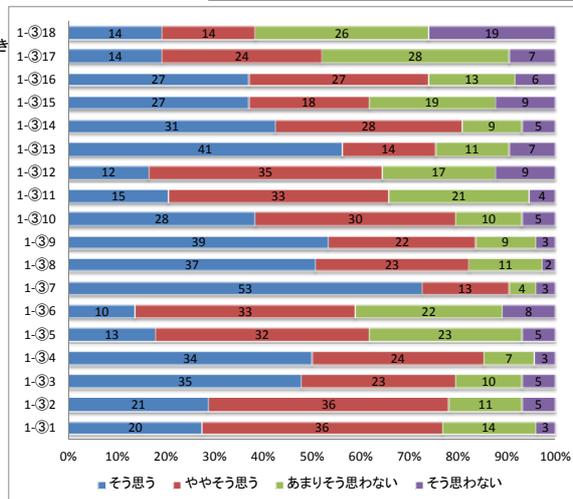
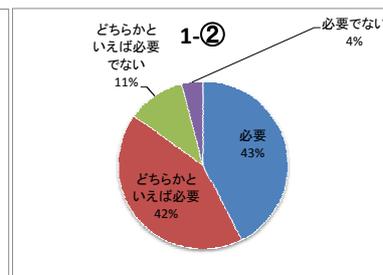
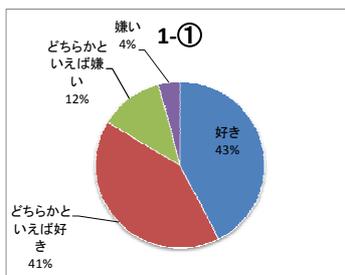
	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
1-①	31	30	9	3

②図画工作を学校で学習することは必要だと思いますか

	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要でない	必要でない
1-②	31	31	8	3

③図画工作に対してどんなイメージを持っていますか

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1-③1	20	36	14	3
1-③2	21	36	11	5
1-③3	35	23	10	5
1-③4	34	24	7	3
1-③5	13	32	23	5
1-③6	10	33	22	8
1-③7	53	13	4	3
1-③8	37	23	11	2
1-③9	39	22	9	3
1-③10	28	30	10	5
1-③11	15	33	21	4
1-③12	12	35	17	9
1-③13	41	14	11	7
1-③14	31	28	9	5
1-③15	27	18	19	9
1-③16	27	27	13	6
1-③17	14	24	28	7
1-③18	14	14	26	19



2 図画工作の時間と先生とのかかわりについて

①図画工作の時間に、先生に言われてうれしかった言葉はありますか

	ある	ない
2-①	47	25

②図画工作の時間に、先生に言われてイヤだった言葉はありますか

	ある	ない
2-②	6	66

③図画工作の時間に、ほめられたことはありますか

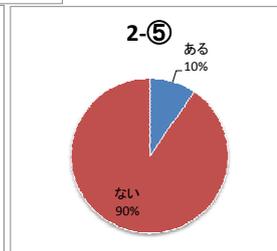
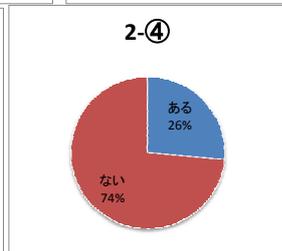
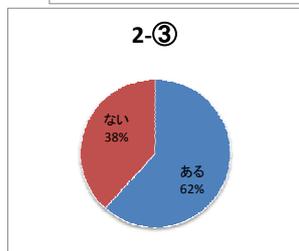
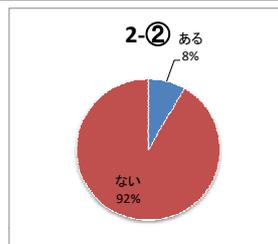
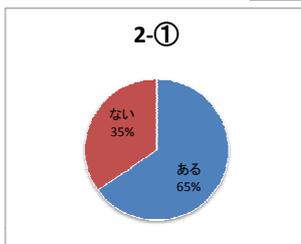
	ある	ない
2-③	45	28

④図画工作の時間に、しかられたことはありますか

	ある	ない
2-④	19	53

⑤図画工作の時間で先生にお願いしたいことがありますか

	ある	ない
2-⑤	7	66



4 図画工作で身につけたい力などについて

① 今までの授業で、あなたはどんな気持ちや力が身につきましたか

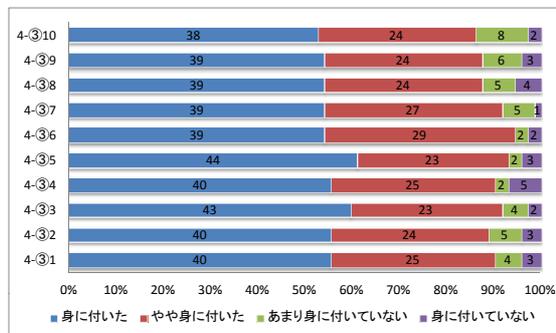
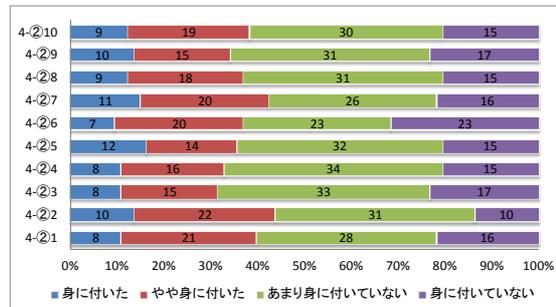
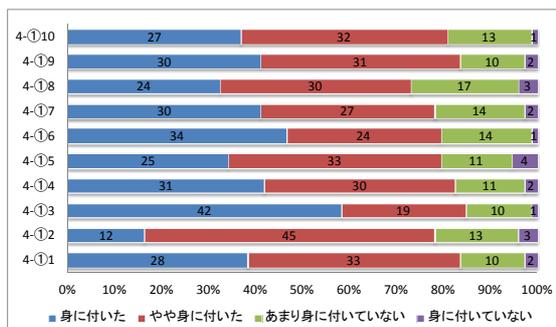
	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-①1	28	33	10	2	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-①2	12	45	13	3	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-①3	42	19	10	1	いろいろなことを思いつく力
4-①4	31	30	11	2	思いついたことをもとに計画する力
4-①5	25	33	11	4	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-①6	34	24	14	1	形や色などを工夫する力
4-①7	30	27	14	2	材料や用具を上手に生かす力
4-①8	24	30	17	3	よいものや美しいものに感動できる力
4-①9	30	31	10	2	自分なりの考えを持つ力
4-①10	27	32	13	1	つくった人の気持ちをわかろうとする力

② 今までの授業で、あなたに不足している気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-②1	8	21	28	16	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-②2	10	22	31	10	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-②3	8	15	33	17	いろいろなことを思いつく力
4-②4	8	16	34	15	思いついたことをもとに計画する力
4-②5	12	14	32	15	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-②6	7	20	23	23	形や色などを工夫する力
4-②7	11	20	26	16	材料や用具を上手に生かす力
4-②8	9	18	31	15	よいものや美しいものに感動できる力
4-②9	10	15	31	17	自分なりの考えを持つ力
4-②10	9	19	30	15	つくった人の気持ちをわかろうとする力

③ 中学生になったら、あなたがより身につけたい気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-③1	40	25	4	3	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-③2	40	24	5	3	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-③3	43	23	4	2	いろいろなことを思いつく力
4-③4	40	25	2	5	思いついたことをもとに計画する力
4-③5	44	23	2	3	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-③6	39	29	2	2	形や色などを工夫する力
4-③7	39	27	5	1	材料や用具を上手に生かす力
4-③8	39	24	5	4	よいものや美しいものに感動できる力
4-③9	39	24	6	3	自分なりの考えを持つ力
4-③10	38	24	8	2	つくった人の気持ちをわかろうとする力



中1美術調査

1 図画工作という教科について

①図画工作の学習は好きですか

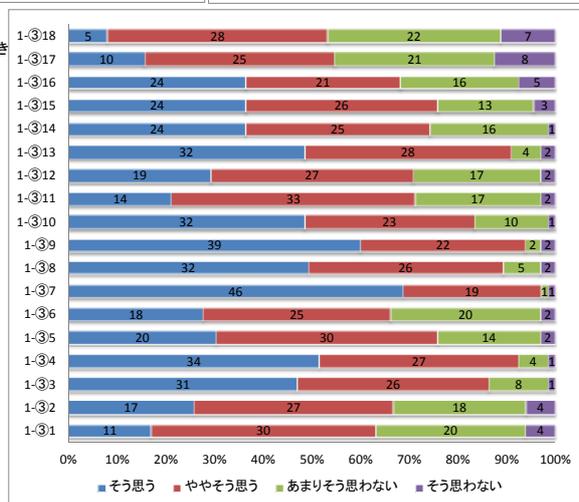
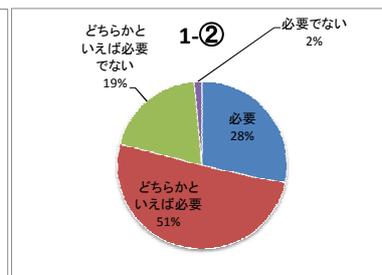
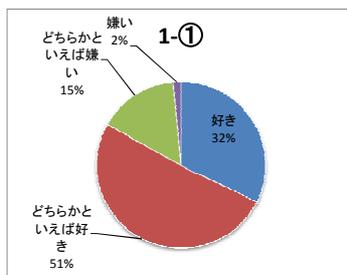
	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
1-①	21	33	10	1

②図画工作を学校で学習することは必要だと思いますか

	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば不要	必要でない
1-②	19	34	13	1

③図画工作に対してどんなイメージを持っていますか

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1-③1	11	30	20	4
1-③2	17	27	18	4
1-③3	31	26	8	1
1-③4	34	27	4	1
1-③5	20	30	14	2
1-③6	18	25	20	2
1-③7	46	19	1	1
1-③8	32	26	5	2
1-③9	39	22	2	2
1-③10	32	23	10	1
1-③11	14	33	17	2
1-③12	19	27	17	2
1-③13	32	28	4	2
1-③14	24	25	16	1
1-③15	24	26	13	3
1-③16	24	21	16	5
1-③17	10	25	21	8
1-③18	5	28	22	7



2 図画工作の時間と先生とのかわりについて

①図画工作の時間に、先生に言われてうれしかった言葉はありますか

	ある	ない
2-①	30	36

②図画工作の時間に、先生に言われてイヤだった言葉はありますか

	ある	ない
2-②	1	65

③図画工作の時間に、ほめられたことはありますか

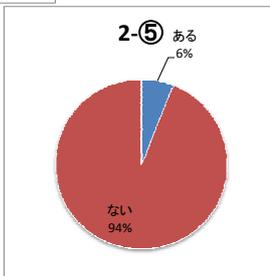
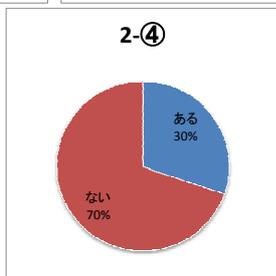
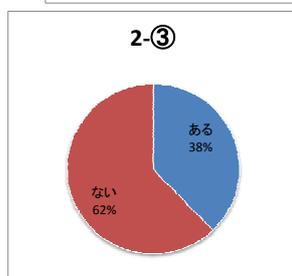
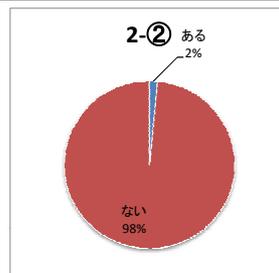
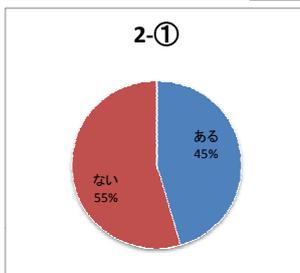
	ある	ない
2-③	25	41

④図画工作の時間に、しかられたことはありますか

	ある	ない
2-④	20	46

⑤図画工作の時間で先生にお願いしたいことがありますか

	ある	ない
2-⑤	4	62



4 図画工作で身につけたい力などについて

① 今までの授業で、あなたはどんな気持ちや力が身につきましたか

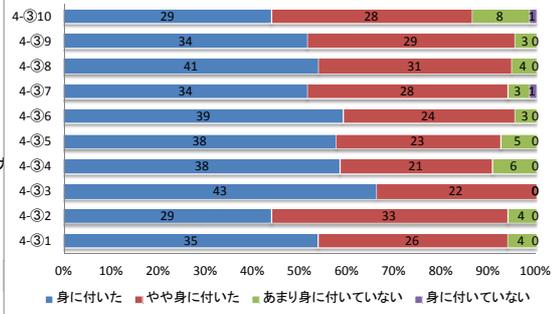
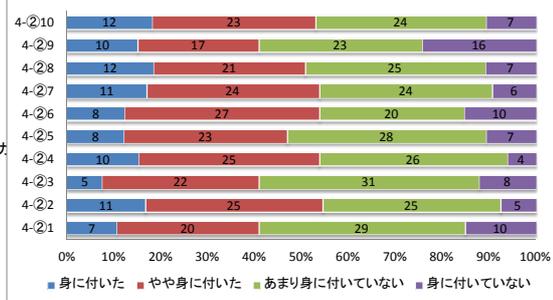
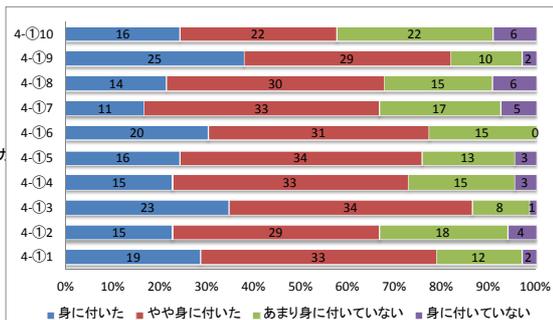
	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-①1	19	33	12	2	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-①2	15	29	18	4	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-①3	23	34	8	1	いろいろなことを思いつく力
4-①4	15	33	15	3	思いついたことをもとに計画する力
4-①5	16	34	13	3	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-①6	20	31	15	0	形や色などを工夫する力
4-①7	11	33	17	5	材料や用具を上手に生かす力
4-①8	14	30	15	6	よいものや美しいものに感動できる力
4-①9	25	29	10	2	自分なりの考えを持つ力
4-①10	16	22	22	6	つくった人の気持ちをわかろうとする力

② 今までの授業で、あなたに不足している気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-②1	7	20	29	10	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-②2	11	25	25	5	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-②3	5	22	31	8	いろいろなことを思いつく力
4-②4	10	25	26	4	思いついたことをもとに計画する力
4-②5	8	23	28	7	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-②6	8	27	20	10	形や色などを工夫する力
4-②7	11	24	24	6	材料や用具を上手に生かす力
4-②8	12	21	25	7	よいものや美しいものに感動できる力
4-②9	10	17	23	16	自分なりの考えを持つ力
4-②10	12	23	24	7	つくった人の気持ちをわかろうとする力

③ 中学生になったら、あなたがより身につけたい気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-③1	35	26	4	0	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-③2	29	33	4	0	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-③3	43	22	0	0	いろいろなことを思いつく力
4-③4	38	21	6	0	思いついたことをもとに計画する力
4-③5	38	23	5	0	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-③6	39	24	3	0	形や色などを工夫する力
4-③7	34	28	3	1	材料や用具を上手に生かす力
4-③8	41	31	4	0	よいものや美しいものに感動できる力
4-③9	34	29	3	0	自分なりの考えを持つ力
4-③10	29	28	8	1	つくった人の気持ちをわかろうとする力



中3美術調査

1 図画工作という教科について

①図画工作の学習は好きですか

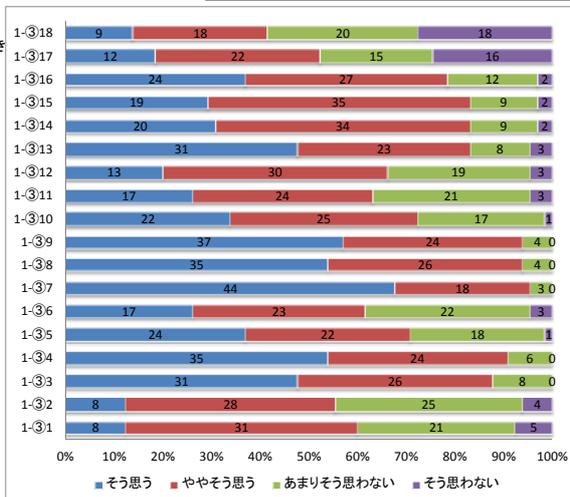
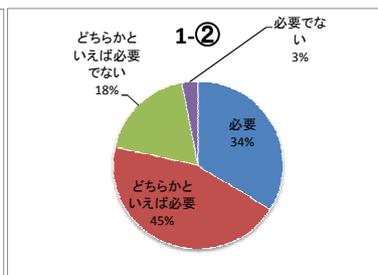
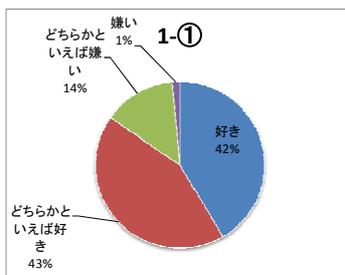
	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
1-①	27	28	9	1

②図画工作を学校で学習することは必要だと思いますか

	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要でない	必要でない
1-②	22	29	12	2

③図画工作に対してどんなイメージを持っていますか

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1-③1	8	31	21	5
1-③2	8	28	25	4
1-③3	31	26	8	0
1-③4	35	24	6	0
1-③5	24	22	18	1
1-③6	17	23	22	3
1-③7	44	18	3	0
1-③8	35	26	4	0
1-③9	37	24	4	0
1-③10	22	25	17	1
1-③11	17	24	21	3
1-③12	13	30	19	3
1-③13	31	23	8	3
1-③14	20	34	9	2
1-③15	19	35	9	2
1-③16	24	27	12	2
1-③17	12	22	15	16
1-③18	9	18	20	18



2 図画工作の時間と先生とのかかわりについて

①図画工作の時間に、先生に言われてうれしかった言葉はありますか

	ある	ない
2-①	32	33

②図画工作の時間に、先生に言われてイヤだった言葉はありますか

	ある	ない
2-②	2	63

③図画工作の時間に、ほめられたことはありますか

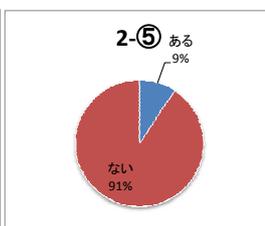
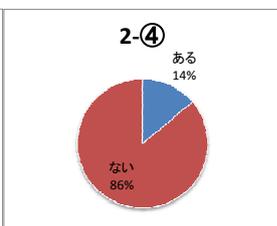
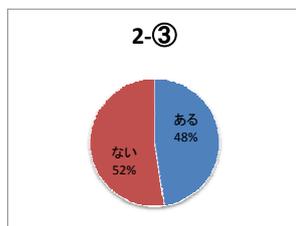
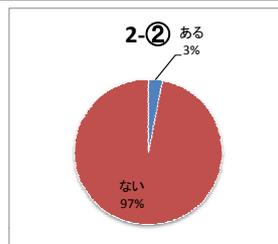
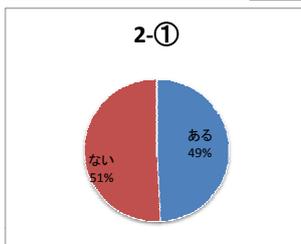
	ある	ない
2-③	31	34

④図画工作の時間に、しかられたことはありますか

	ある	ない
2-④	9	56

⑤図画工作の時間で先生にお願いしたいことがありますか

	ある	ない
2-⑤	6	59



4 図画工作で身につけたい力などについて

① 今までの授業で、あなたはどんな気持ちや力が身につきましたか

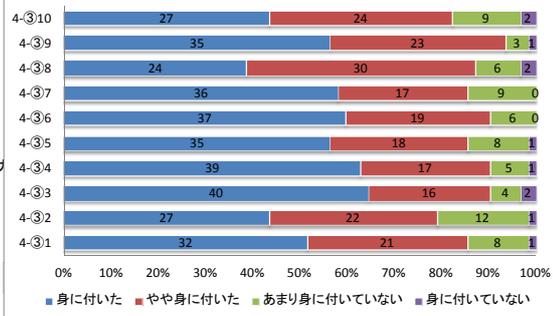
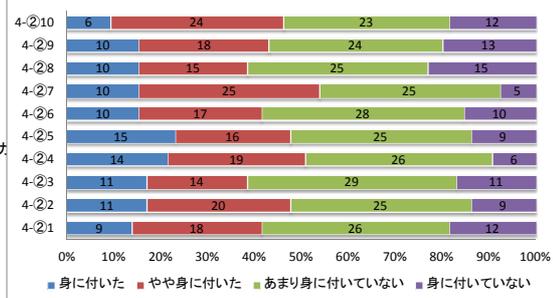
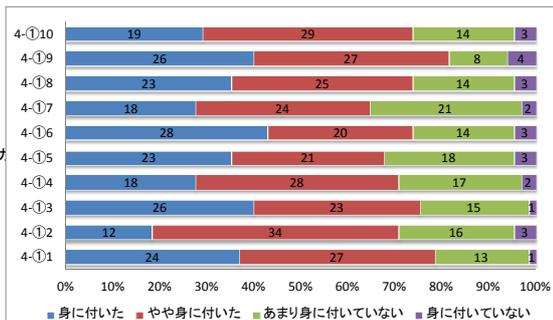
	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-①1	24	27	13	1	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-①2	12	34	16	3	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-①3	26	23	15	1	いろいろなことを思いつく力
4-①4	18	28	17	2	思いついたことをもとに計画する力
4-①5	23	21	18	3	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-①6	28	20	14	3	形や色などを工夫する力
4-①7	18	24	21	2	材料や用具を上手に生かす力
4-①8	23	25	14	3	よいものや美しいものに感動できる力
4-①9	26	27	8	4	自分なりの考えを持つ力
4-①10	19	29	14	3	つくった人の気持ちをわかろうとする力

② 今までの授業で、あなたに不足している気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-②1	9	18	26	12	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-②2	11	20	25	9	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-②3	11	14	29	11	いろいろなことを思いつく力
4-②4	14	19	26	6	思いついたことをもとに計画する力
4-②5	15	16	25	9	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-②6	10	17	28	10	形や色などを工夫する力
4-②7	10	25	25	5	材料や用具を上手に生かす力
4-②8	10	15	25	15	よいものや美しいものに感動できる力
4-②9	10	18	24	13	自分なりの考えを持つ力
4-②10	6	24	23	12	つくった人の気持ちをわかろうとする力

③ 中学生になったら、あなたがより身につけたい気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-③1	32	21	8	1	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-③2	27	22	12	1	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-③3	40	16	4	2	いろいろなことを思いつく力
4-③4	39	17	5	1	思いついたことをもとに計画する力
4-③5	35	18	8	1	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする力
4-③6	37	19	6	0	形や色などを工夫する力
4-③7	36	17	9	0	材料や用具を上手に生かす力
4-③8	24	30	6	2	よいものや美しいものに感動できる力
4-③9	35	23	3	1	自分なりの考えを持つ力
4-③10	27	24	9	2	つくった人の気持ちをわかろうとする力

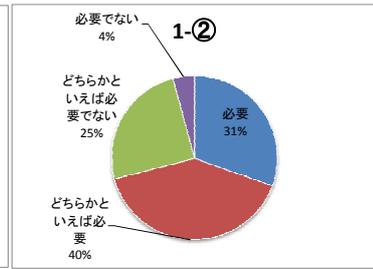
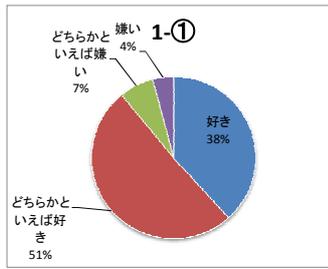


高1美術調査

1 美術という教科について

①美術の学習は好きですか

	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
1-①	28	37	5	3

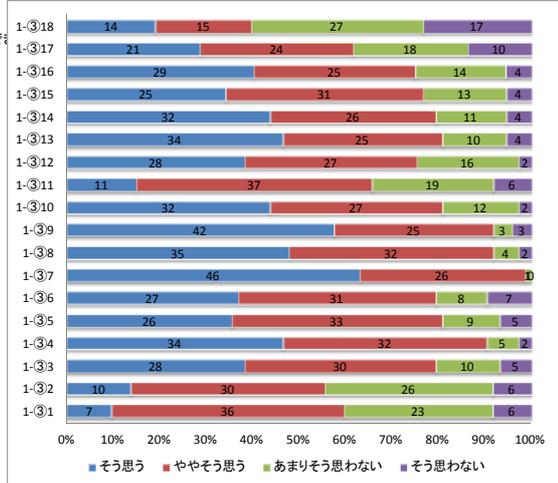


②美術を学校で学習することは必要だと思いますか

	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要でない	必要でない
1-②	22	29	18	3

③美術に対してどんなイメージを持っていますか

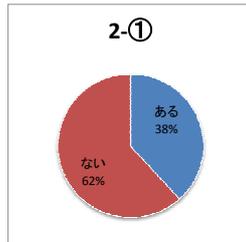
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
1-③1	7	36	23	6	生活に役立つことを学ぶことができる
1-③2	10	30	26	6	将来の生活や社会に出て役立つことを学ぶことができる
1-③3	28	30	10	5	生活を明るく豊かにするのに役立つ
1-③4	34	32	5	2	心を豊かにするのに役立つ
1-③5	26	33	9	5	伝統や文化がわかるようになる
1-③6	27	31	8	7	諸外国の文化の違いがわかるようになる
1-③7	46	26	1	0	考えたり、想像する力がつく
1-③8	35	32	4	2	思いや考えを伝える力がつく
1-③9	42	25	3	3	よさや美しさを見つける力がつく
1-③10	32	27	12	2	思うように絵がかけられるようになる
1-③11	11	37	19	6	人の思いがわかるようになる
1-③12	28	27	16	2	自分のセンスが良くなる
1-③13	34	25	10	4	夢中になれる
1-③14	32	26	11	4	発見やおどろきがある
1-③15	25	31	13	4	リラックスができる
1-③16	29	25	14	4	いろいろなことができる
1-③17	21	24	18	10	遊べる
1-③18	14	15	27	17	おしゃべりができる



2 美術の時間と先生とのかわりについて

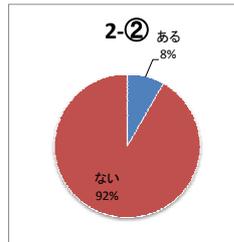
①美術の時間に、先生に言われてうれしかった言葉はありますか

	ある	ない
2-①	28	45



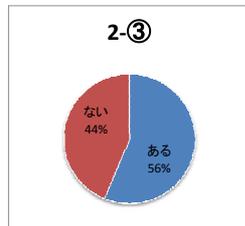
②美術の時間に、先生に言われてイヤだった言葉はありますか

	ある	ない
2-②	6	67



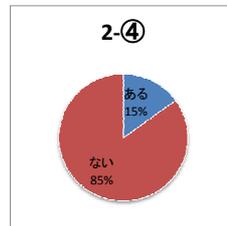
③美術の時間に、ほめられたことはありますか

	ある	ない
2-③	41	32



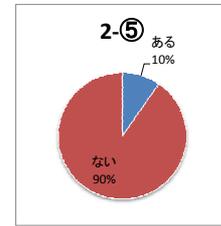
④美術の時間に、しかられたことはありますか

	ある	ない
2-④	11	62



⑤美術の時間で先生にお願いしたいことがありますか

	ある	ない
2-⑤	7	66



4 美術で身につけたい力などについて

① 今までの授業で、あなたはどんな気持ちや力が身につきましたか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-①1	26	32	14	1	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-①2	14	37	21	1	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-①3	25	36	11	1	いろいろなことを思いつく力
4-①4	20	31	20	2	思いついたことをもとに計画する力
4-①5	18	33	20	2	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする
4-①6	29	26	16	1	形や色などを工夫する力
4-①7	23	29	19	2	材料や用具を上手に生かす力
4-①8	24	25	23	1	よいものや美しいものに感動できる力
4-①9	25	36	12	0	自分なりの考えを持つ力
4-①10	16	30	24	3	つくった人の気持ちをわかろうとする力

② 今までの授業で、あなたに不足している気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-②1	6	30	28	8	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-②2	10	30	26	7	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-②3	8	22	34	9	いろいろなことを思いつく力
4-②4	11	32	24	6	思いついたことをもとに計画する力
4-②5	11	28	28	6	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする
4-②6	12	27	24	10	形や色などを工夫する力
4-②7	10	30	22	10	材料や用具を上手に生かす力
4-②8	7	28	27	11	よいものや美しいものに感動できる力
4-②9	7	27	28	10	自分なりの考えを持つ力
4-②10	8	30	27	8	つくった人の気持ちをわかろうとする力

③ 中学生になったら、あなたがより身につけたい気持ちや力は何ですか

	身に付いた	やや身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない	
4-③1	36	30	5	2	進んでえがいたり、つくったりしようとする気持ち
4-③2	31	31	8	3	進んで見て、感じて、話をしようとする気持ち
4-③3	42	23	6	2	いろいろなことを思いつく力
4-③4	38	26	6	2	思いついたことをもとに計画する力
4-③5	43	22	7	1	思いついたとおりに、えがいたり、つくったりする
4-③6	38	27	7	1	形や色などを工夫する力
4-③7	35	25	8	4	材料や用具を上手に生かす力
4-③8	32	29	8	3	よいものや美しいものに感動できる力
4-③9	37	27	7	2	自分なりの考えを持つ力
4-③10	35	26	10	2	つくった人の気持ちをわかろうとする力

